

## 定期検査中の柏崎刈羽原子力発電所3号機における制御棒の動作について（続報）

平成 22 年 12 月 1 日  
東京電力株式会社

定期検査中の3号機において、制御棒駆動水圧系水圧制御ユニット\*<sup>1</sup>の復旧作業の一環として、制御棒（38-59）駆動水に関連する弁を操作したところ、本日午後2時48分頃、中央制御室において、制御棒ドリフト警報\*<sup>2</sup>が発生しました。

ただちに、制御棒の位置表示を確認したところ、当該制御棒1本が、一時的に全引き抜き位置から約15cm挿入側に動作し、その後、元の全引き抜き位置に戻った可能性があるものと判断いたしました。

3号機は、本日より原子炉内への燃料の装荷作業を実施しておりますが、当該制御棒の周辺には燃料は装荷されておらず、原子炉の安全上の問題はありません。

また、本事象による外部への放射能の影響はありません。

（平成22年12月1日 午後4時50分 お知らせ済み）

その後、中央制御室において制御棒（38-59）の位置表示装置の機能に異常がないことを確認したことから、当該制御棒は、実際に、全引き抜き位置から一時的に約15cm挿入側へ動作し、その後、元の全引き抜き位置に戻ったものと判断いたしました。

今後、原因について詳細に調査いたします。

なお、本事象は実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則 第19条の17に基づく報告対象に該当することから、原因の調査結果等がとりまとめ次第、経済産業省原子力安全・保安院へ報告する予定です。

以 上

### \* 1 制御棒駆動水圧系水圧制御ユニット

制御棒を炉心内に挿入したり引き抜きしたりするため、制御棒駆動機構に駆動水等を送る装置。

### \* 2 制御棒ドリフト警報

制御棒が所定の位置にない状態となったことを示す警報。